

2 消火栓直結資機材の使い方



1 各部の名称と性能

消火栓直結資機材は、消火栓にスタンドパイプを差し込み、ホースと筒先を結合することで、毎分 100ℓ以上の放水ができる消火資機材です。軽量で、キャリアにより持ち運びも容易なので、消防車両が進入できない狭い道路の地域や木造住宅が密集している地域において、火元の近くの消火栓を用いた有効な消火活動ができます。



1 消火栓開閉金具



消火栓の蓋を開けたり、消火栓内の放水弁の開閉のため使用します。

3 スタンドパイプ



消火栓内の吐水口に取り付け、ホースに水を送ります。

5 ホース



口径が 40mm で長さが 20m の消火用ホースです。

2 媒介金具



スタンドパイプの放水口（65mm）とホース（40mm）を連結させるためのものです。

4 筒先



ホースの先に取り付け、放水量を調節できます。

6 キャリー



消火栓直結資機材を運ぶためのものです。

2 操作の流れ

吸水操作

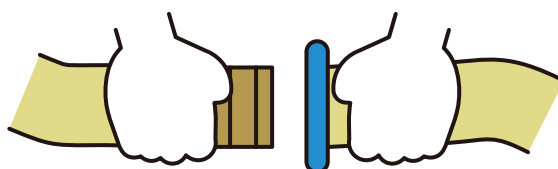
- ① 消火栓の蓋を開ける
- ② スタンドパイプを吐水口に差し込む
- ③ 消火栓開閉金具を放水弁に差し込む
- ④ 水が出るのを確認後、放水弁を一旦閉める



ホースの延長

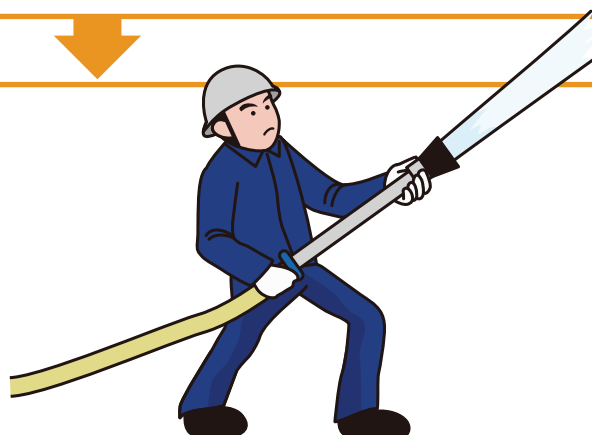
- ⑤ ホース延長
- ⑥ 延長したホースをスタンドパイプに結合
- ⑦ 2本目(3本目)のホースを延長
- ⑧ ホースとホースを結合する
- ⑨ ホースの先端に筒先を結合

必要に応じて



放水・停水操作

- ⑩ 放水はじめの合図
- ⑪ 消火栓の放水弁を開ける
- ⑫ 放水開始
- ⑬ 放水停止
- ⑭ 放水弁を閉める



3 設定時の全体図

※ポンプを用いずに水道管の圧力を利用して消火します。



4 消火栓直結資機材の操作手順

吸水操作

① 消火栓の蓋を開ける

消火栓の蓋はさまざまです。それぞれの開け方は 12 ページをご覧ください。

- 蓋を開ける時は、周囲の安全を確認し、膝を曲げて腰を低くし怪我をしないように開けましょう。
- 蓋を開ける時には、足の位置に要注意。蓋が倒れても挟まらない位置に置きましょう。



② スタンドパイプを吐水口に差し込む

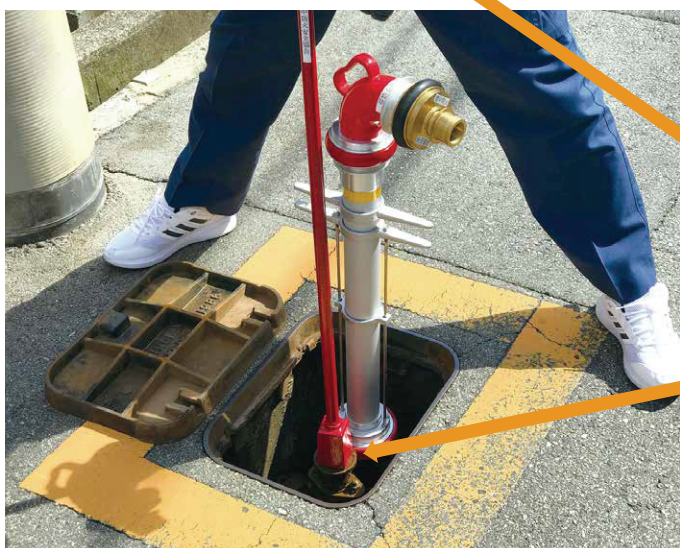
- 操作中に蓋が倒れてこないように、蓋は完全に開けましょう。
- 結合したら、上方に引っ張り、確実に接続されているかを確認しましょう。
- スタンドパイプの先に媒介金具が付いていることを確認しましょう。



MOVIE



③ 消火栓開閉金具を放水弁に差し込む



消火栓の内部



④ 水が出るかを確認後、放水弁を一旦閉める

- 放水弁を開くときは、消火栓開閉金具をゆっくり回しましょう。急な操作は、水が勢いよく噴出し、とても危険です。

MOVIE



●消火栓への転落にはご注意ください!

消火栓は深く、落ちると危険です。消火作業中は、作業者や通行人が転落しないようにロードコーンや照明などで注意を促しましょう。

ホースの延長



⑤ ホースを延長する

- ホースを延ばす前に、前方に人や障害物がないかを確認しましょう。
- ホースは 1 本 20m です。火災現場までの距離に応じて 2 本目、3 本目のホースも延ばします。
- ホース延長に十分なスペースがない場合などは、ホースを横にして延長しましょう。
(詳しくは MOVIE②参照)

MOVIE①



MOVIE②

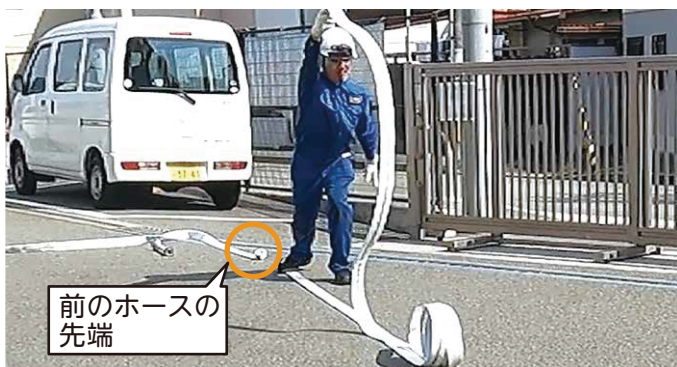


⑥ 延長したホースをスタンドパイプに結合する

- 結合は「カチッ」と音になるまで差し込んでください。
- 結合後は、ホースを引っ張り確実に結合できているかを確認しましょう。

MOVIE





7 2本目(3本目)のホースを延長

- 1本目(2本目)のホースの先端付近から延ばしましょう。

MOVIE



8 ホースとホースを結合する

- 結合は「カチッ」と音になるまで差し込んでください。
- 結合後は、ホースを引っ張り確実に結合できているかを確認しましょう。

MOVIE



9 ホースの先端に筒先を結合

- 結合は「カチッ」と音になるまで差し込んでください。
- 結合後は、筒先とホースを引っ張り確実に結合できているかを確認しましょう。

MOVIE



10 放水はじめの合図

- 放水の準備ができれば、消火栓担当者に「放水はじめ!」と腕を真っ直ぐ上に伸ばして伝えましょう。
- 消火栓担当者が見えない場合は、誰かに伝えてもらいましょう。
- 放水担当者(筒先を持つ人)は、筒先から離れず、しっかり保持しましょう。

MOVIE



11 消火栓の放水弁を開ける

- 放水はじめの合図が確認できたら、放水弁を開けましょう。
- 放水弁はゆっくり開けましょう。一気に開けると、放水担当者が反動を受けて危険です。

MOVIE



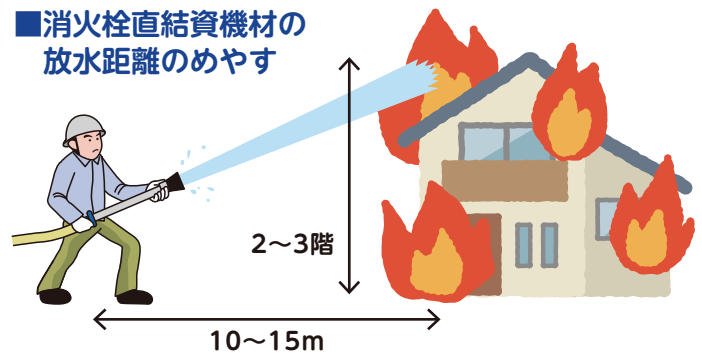
放水・停水操作

12 放水を開始する

- 補助者がいる場合は、放水担当者の後方から保持を支援しましょう。
(詳しくは MOVIE②参照)
- 補助者は、ホースの折れがあれば延ばしましょう。



■ 消火栓直結資機材の放水距離のめやす



※ホースの本数や、消火栓の状況、風向きなどの条件により放水距離は変わります。

13 放水を停止する

- 放水の必要がなくなった場合はゆっくりと放水を停止します。
消火栓担当者に「放水やめ!」と腕をまっすぐ横に伸ばして伝えましょう。
- 消火栓担当者が見えない場合は、誰かに伝えてもらいましょう。



14 消火栓の放水弁を閉める

- 放水やめの合図が確認できたら、放水弁を閉めましょう。
- 放水弁はゆっくり閉めましょう。

